



駒澤大学名誉教授
佐々木宏幹

仏教企画通信

発行日 | 令和元年6月1日

56号

発行所 | 有限会社 仏教企画
〒252-0113
神奈川県相模原市緑区谷ヶ原2-9-5-5
Tel.042-703-8641
Fax.042-783-0989
発行人 | 有限会社 仏教企画代表 藤木隆宣
Email | fujiki@water.ocn.ne.jp

はじめに

「生き神」の語は、「生きて
いる神。人のかたちであらわ
れている神。②霊験のあらた
かな神。③徳の高い人を尊ん
でいう」ことを意味する。

これにたいして「生き仏」
は、「生身の人間でありなが
ら仏としてあがめられている
徳の高い人。いきほさつを指
す」(両者とも『広辞苑』(岩波書店
による))。

神道と仏教の専門家による
学術的な解説になると、**原意**
(もとの意味)は**どうの変遷**は
こうのと七面倒くさくなるの
で、あえて『広辞苑』に拠った。
この辞典も専門家が書いてい
るのだが、あくまで一般人向
けであり、専門家用ではない。
だから分かりやすいのである。

右の解説では、両者とも
「徳の高い人」を意味する点
でピタリ重なっている。また
「神」と「仏」の意味に大差は
ない。ないどころか共通性に
富んでいる。日本人の多くが
日常語として多用する「神
仏」や「神も仏もあるものか」
などその例であろう。

では「神降ろし」や「仏降
ろし」という行事の実際はど
うか。
前者は「祭の場に神霊を招
請すること。②巫女が託宣を
受けるために神霊を身にのり
うつらせること。③起請文で
祈願・誓約する神々の名を書
いた箇所」を指し、後者は
「東北地方北部で、葬送の後、
巫女を頼んで新亡者の口寄せ
をすること」を意味する。

③の「起請文」とは、「神仏
に誓って約束したことを記し
た文」のことであり、「口寄
せ」とは、「巫女などが神が
かりになって、霊魂を呼び寄
せその意志を伝え告げること。
神霊を寄せるのは神口、生霊
を寄せるのは生口、死霊を寄
せるのは死口という」。

テレビでもよく放映される
「口寄せ」は青森県の恐山の
場合が多いが、ここでは死霊
を寄せる「死口」が専らであ
る。

私が生まれ育った宮城県気
仙沼市には、死口を専らとす
る巫女がいた。死者を自身に
乗り移らせて、死者の思いを
述べるのである。

このことについては何度か
記したことがあるので、ここ
では触れないことにする。

日本の新興宗教

(主に江戸時代末期より
現代に至る間に創唱され
た宗教の教祖の多く
は巫女的な性格を具
えた人が少なくなか
った。

天理教の教祖であ
る中山みきはその一
人であると言えよう。



みきは一七九八(寛政一〇)年
大和国(奈良県)三味田村に生
れた。

幼少の頃から慈悲深く他人
に親切であったので、両親も
近隣の人々も、彼女の将来に
望むところが多かった。

浄土信仰の篤い家庭環境に
育つたためか、子供の頃に仏
道を求め、尼僧に憧れるよう
になった。驚いた両親はにわ
かに縁談をすすめて、彼女は十
三歳にして近在の中山善兵衛
に嫁がせられた。

嫁としての彼女は、両親に
孝養をつくし家業にひたすら
であったので、十六歳にして
所帯を任された。

隣家の人が乳呑児を育てあ
ぐねているのを目にして、そ
の子を預って世話をしていた
とき、その子が黒疱疹(天然
痘)にかかって医者も見放し
た。そのときみきは自分の娘
二人と自分の身代わりとして
神仏にその子の生命乞いをし
た。その子は助かり、人々は
みきを「神のような人」と評
した。

一八三八(天保九)年十月二
十六日みき四十一歳のとき、
彼女に神(天理王命)が降臨。
憑依し、「我は元の神、実の
神である。このたび世界一列

をたすけるために天降った。
みきを神のやしろに貰い受け
たい」と告げた。その後、不
思議なたすけが続く、最初は
彼女を狂人視していた人々も、
みきを「生き神様」として尊
崇するようになり、信者が増
大するにいたる。「天理教」
の誕生である。この国の新宗
教には、みきのような教祖が
少なくない。

生き神(仏)の諸相

日本で「生き神」とか「生
き仏」と言われる人は、総じ
て「徳の高い人」であるとき
れてきたことは、すでに述べ
た。

では「徳の高い人」とはど
ういう人物を指して言うのだ
ろうか。

「徳」の意味は、①道をさと
った立派な行為。②善い行い
をする性格。③人を感化する
人格の力。めぐみ。神仏の力、
とされる(『広辞苑』)。

そうすると「生き神」、「生
き仏」と称されるような人物
は「立派な善い行いを為し、
人を感化できる性格・人格の
力の保持者」ということにな
ろうか。「生き神(仏)」は、お
人よしだけでは不十分で、
「他人を感化できる力の持ち
主」であることが必須条件と
見られているのである。

新宗教の多くにおいて、こ
の力は「ご利益を生み出す
力」であったと考えられる。
たとえば一時期、急速に教
団を発展させた「世界救世教
(世界メシヤ教)」の教祖岡田茂

吉(一八八二(明治一五)〜一九
五五(昭和三〇))は、彼の掌
から放射する観音力(かんのん
りき)で浄霊を行い、万病を
治しうるとされた。

彼は人間の苦は病・貧・争
にあり、貧も争も病から生じ
ると説き、みずから「生き
神」と称し、病・貧・争のな
い地上天国を建設すると唱え
た。

そして地上天国のモデルと
して静岡県熱海市に瑞雲郷
神奈川県箱根町に神仙郷、京
都府嵯峨野に平安郷を築き、
箱根美術館や熱海美術館を開
館した。

筆者はかつて熱海の瑞雲郷
と美術館を訪ねたことがある
が、その豪華さと宗教の力に
瞠目(目をみはる)したものだ
である。

「ご利益信仰」で外せないの
は、「大本教」であろう。教
祖は出口なお(一八三七(天保
七)〜一九一八(天正七))で、
現在の京都府福知山市の木工
の家に生まれた。家が貧しく、
十一歳のとき奉公に出されて
辛酸を嘗め、十八歳で子供の
いない叔母の、出口ゆりの養
女になったが、ゆりは財産を
めぐる争いから自殺。まもな
くなおは叔母ゆりの死霊に憑
依されるようになった。

彼女は結婚し十一人の子を
産んだが三人を失い、三男五
女を育て上げた。

その後、夫の放蕩で家財一
切を失い、どん底に落ちた。
なおはいろいろな職について
必死に家を支えた。しかし不
幸は続き、九〇年には三女ひ

さが、翌年には長女よねが発

狂した。なおは相續く不幸に
 疲れて、京都府亀岡の金光
 教が説く「良(北東、即ち鬼門の
 方角)の金神」を信仰するに至
 った。

そして一八九二年一月五日、
 なおは突然憑依状態になり、
 「われは良の金神なるぞ。神
 はなおの体を社として借り
 たぞよ」と口走り、さらに

「二千世界一度に開く梅の花、
 良の金神の世になりたぞよ、
 良の金神現われて、世の立替
 え致すぞよ」と世界の立替え
 を予言した。「大本教」の誕
 生である。

なおは病氣治しを中心に活
 動を続け、やがて、大本教の
 教義の原典とも言うべき「お
 筆先」の執筆にあたった。

この宗教においても、活動
 の基礎にあるのは、病氣を治
 し、災厄を避ける力」であつ
 たと言えよう。

信者にとって「われは良の
 金神なるぞ」と宣うなおが
 「生き神」であったことは言
 うまでもなからう。

「生き仏」はどうであろうか。
 その意味については本稿の冒
 頭で「生身の人間でありなが
 ら仏としてあがめられている
 徳の高い人、いきほさつを指
 す」を挙げた。

できず、師のもとを去って難
 行・苦行を六年間も続けても
 求める宗教的境地に至らず、
 苦行を棄てて体力を回復し、
 ブツダガヤーのアシュヴァツ
 タ樹(菩提樹)の下で禪定に入
 り、ついに三十五歳で「大
 悟」した。日本では大悟の日
 を十二月八日とし、「成道会」
 を営む。

大悟の「悟(り)はサンス
 クリット語のボーデイ(bodhi)
 の音写語であり、「菩提」
 と記す。

釈尊は一般に「仏陀」と称
 されるが、この語はサンスク
 リット語のブツダ(buddha)
 の音写語で「覚者」、「目
 覚めた人」を意味する。なお
 わが国では「仏陀」の語は、
 「仏(ぶつ・ほとけ)として広く
 知られ用いられている。

さて「生き仏」のことが、
 この語は釈尊のように悟って
 仏となった人を意味するとと
 もに、仏の境地に達した「徳
 の高い僧」をも意味する。さ
 らにこの語は仏教の篤信者や
 慈悲深く無欲な人の尊称と
 しても用いられる。

テレビでも放映され評判に
 なった比叡山(天台宗総本山、滋
 賀県)の千日回峰行者は、厳
 しい修行により、生きながら
 仏となった人であり、人々を
 救済する力を身につけた人
 として、人々から「生き仏」
 と呼ばれる、彼の法衣や数珠に
 触れると無病息災の生が得ら
 れるとされた。

また各宗の貫主や門主が
 人々から「生き仏」として特
 別視されることは、信濃・長
 野県の善光寺や浄土真宗の

本願寺などでよく知られてい
 る。
 次にぜひ書いておきたいの
 は、南アジアの国、ネパール
 で数百年間崇拜されてきた
 「クマリ」(Kumari)と呼ば
 れる少女の「生き神」につい
 てである。

サンスクリット語で「少
 女」や「処女」を意味するク
 マリは、仏教徒であるネワ
 ル人(ネパールのカトマンズ盆地
 一帯に居住する民族)の「シャキ
 ヤ(釈迦)と呼ばれるカース
 ト(身分)から選ばれ、王国の
 守護女神の生まれ変わりであ
 り、幸運をもたらす生き神と
 してヒンドゥ教徒からも崇拜
 されてきた。

クマリは初潮期の幼い女
 子から選ばれるが、その方法
 はチベット仏教の活仏、ダラ
 イ・ラマが選定される仕方に
 似ている。

家柄が重視され、まずネワ
 ル人の仏教徒の僧侶・金細
 工師・カーストのシャキヤの生
 まれでなければならぬ。
 加えて三十二もある条件を
 満たさなければならぬ。その
 一部を挙げると、(1)健康で
 ある、(2)全ての歯が欠けてい
 ない、(3)菩提樹のような身体
 (4)子牛のような睫毛、(5)獅子
 のような胸、(6)鹿のような脚
 (7)アヒルのように柔らかく透
 き通った声、(7)黒い髪と目
 等々。

さらに身体的に怪我が跡や
 不自由な箇所がなく、動物の
 頭部が並べられた暗い部屋に
 閉じ込められても耐えること
 が必要とされる。
 首都カトマンズのダルバ

ール広場にあるクマリの館
 (Kumari Bahal)で、
 彼女は侍従たちに囲まれて
 暮らしている。

その力は絶大であり、人々
 に幸運をもたらすとされ、
 人々の篤い信仰の対象である。
 クマリは人々の病気の治療
 と願望を叶えさせるために祈
 願する。また彼女は、国や
 人々に何か深刻な事態が起こ
 るようなときには、特異な態
 度をとる。

たとえばクマリへの依頼者
 が深刻な病いになるか死が近
 いときには、彼女はわめいた
 ら大大声で笑ったりする。その
 人に死が近いときには、泣い
 たり目を擦ったりする。投獄
 されている人の前では身震い
 する。国王が何かを恐れてい
 る際には手を叩く。財産が損
 失する時には、供物をつまむ
 等。だからクマリが静かな状
 態で過しているとき、人々は
 安心していられるとされる。

クマリに選ばれた少女は家
 族と離れて、旧王宮広場にあ
 る「クマリ・チェン」(クマリの
 住居)と呼ばれる館で暮らし
 ている。彼女は顔面の額の中
 心に第三の目を持っている
 (画かれたもの)。「生き神」のシ
 ンボルである。

彼女は厳格な戒律を守った
 暮らしをしており、特定の日
 以外クマリ・チェンを出るこ
 とはない。しかし日に何度か
 館の窓から外を眺めることが
 ある。

もう四十年前の冬であつ
 たが、ネパールを訪ねていた
 私は、クマリの姿を目にした
 ことがある。

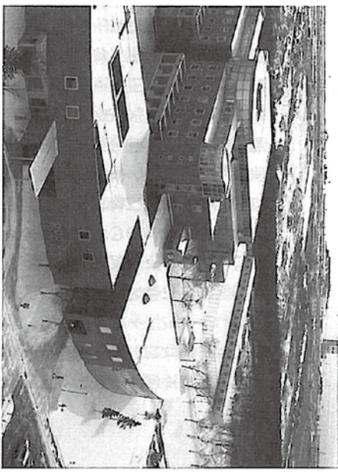


三階建の館の前庭には大勢
 の人が集まり、一斉に三階中
 央の窓に目を注いでいた。
 やがてクマリが窓辺に姿を
 見せた。二人の侍者を従えた
 彼女は真っ赤な着物を身に付
 けた少女であった。集まつて
 いた人々は合掌したり腰を曲
 げて礼拝したりした。彼女は
 にこりとみせず左右に目を
 遣ったのち、静かに消えた。

「生き神」を目にした人々は
 一様に満足気であった。
 二〇一八年一月一日の
 「朝日新聞」はクマリを大き
 く取り上げている。前半は私
 が述べたこととほぼ重なる。
 見出しは「神宿る少女クマ
 リ」変容―ネパール一人権侵
 害」批判受け」カトマンズ＝奈
 良健輔)である。その概要を記
 そう。

二〇〇八年にクマリと関わ
 りが深かった王制が廃止され
 ネパールは連邦共和制となっ
 た。

政権を握った共産党毛沢東
 主義派は一時、「封建的な慣
 習」としてクマリ廃止を主張



中国の天津にある天津大学(左)と、ネパールにあるクマリ館(右)の比較

「17君の高校が乗る取られる」
 一月十九日に開かれた駒澤大学
 野獣部部部七十周年を祝う会の席
 上、一部の参加者がこんな話をし
 ていた。アキとエニエーヨ
 ク・ヤンキースの田中将大投手の
 ことであり、彼の出身校、駒澤大
 学附屬吉小牧高等学校が乗る取ら
 れるというのだから話に経やかではな
 い。東京の明治記念館で開かれた
 この会合に参加したのは野獣部
 関係者やOBのフクロ野獣選手だけで
 なく、学校側関係者も同席の設立
 母体である宗教法人、駒澤大学の僧
 侶も多数参加した。こうして

てきた。厚き数センチにも及ぶ
 学校関係者が警戒しているのは、
 及び寄る「中国の影」。駒澤大学
 の資料の量から推測しても相当以
 前から準備していたと思われる。
 内情を知る駒大の関係者が語る。
 「須川理事長と教名の幹部らが極
 度にいくとあるキープが学が
 僧侶である須川氏は素務的なこと
 をこなし、駒大は素務的なこと
 系列の吉小牧駒澤大学を設立した
 京都市立駒澤大学に無償譲渡するこ
 とを決定した。大学の定例
 理事会の冒頭に須川法務理事長が
 ク・ヤンキースの田中将大投手の
 ことであり、彼の出身校、駒澤大
 学附屬吉小牧高等学校が乗る取ら
 れるというのだから話に経やかではな
 い。東京の明治記念館で開かれた
 この会合に参加したのは野獣部
 関係者やOBのフクロ野獣選手だけで
 なく、学校側関係者も同席の設立
 母体である宗教法人、駒澤大学の僧
 侶も多数参加した。こうして

「中国・瀋陽と駒大を繋げる」
 駒大は二〇一七年一月、駒大が
 系列の吉小牧駒澤大学を設立した
 京都市立駒澤大学に無償譲渡するこ
 とを決定した。大学の定例
 理事会の冒頭に須川法務理事長が
 ク・ヤンキースの田中将大投手の
 ことであり、彼の出身校、駒澤大
 学附屬吉小牧高等学校が乗る取ら
 れるというのだから話に経やかではな
 い。東京の明治記念館で開かれた
 この会合に参加したのは野獣部
 関係者やOBのフクロ野獣選手だけで
 なく、学校側関係者も同席の設立
 母体である宗教法人、駒澤大学の僧
 侶も多数参加した。こうして

「中国の影」を巡る謎
 学校関係者が警戒しているのは、
 及び寄る「中国の影」。駒澤大学
 の資料の量から推測しても相当以
 前から準備していたと思われる。
 内情を知る駒大の関係者が語る。
 「須川理事長と教名の幹部らが極
 度にいくとあるキープが学が
 僧侶である須川氏は素務的なこと
 をこなし、駒大は素務的なこと
 系列の吉小牧駒澤大学を設立した
 京都市立駒澤大学に無償譲渡するこ
 とを決定した。大学の定例
 理事会の冒頭に須川法務理事長が
 ク・ヤンキースの田中将大投手の
 ことであり、彼の出身校、駒澤大
 学附屬吉小牧高等学校が乗る取ら
 れるというのだから話に経やかではな
 い。東京の明治記念館で開かれた
 この会合に参加したのは野獣部
 関係者やOBのフクロ野獣選手だけで
 なく、学校側関係者も同席の設立
 母体である宗教法人、駒澤大学の僧
 侶も多数参加した。こうして

駒澤大学に忍び寄る「中国の影」

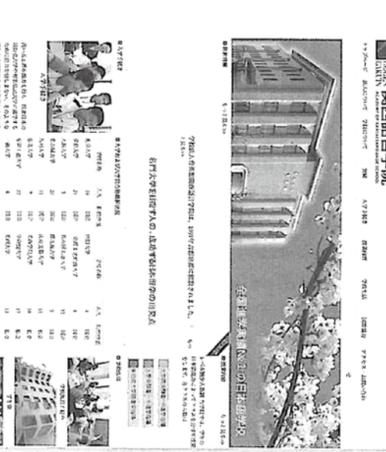
北海道系列校「無償譲渡」を巡る謎

「中国の影」を巡る謎
 学校関係者が警戒しているのは、
 及び寄る「中国の影」。駒澤大学
 の資料の量から推測しても相当以
 前から準備していたと思われる。
 内情を知る駒大の関係者が語る。
 「須川理事長と教名の幹部らが極
 度にいくとあるキープが学が
 僧侶である須川氏は素務的なこと
 をこなし、駒大は素務的なこと
 系列の吉小牧駒澤大学を設立した
 京都市立駒澤大学に無償譲渡するこ
 とを決定した。大学の定例
 理事会の冒頭に須川法務理事長が
 ク・ヤンキースの田中将大投手の
 ことであり、彼の出身校、駒澤大
 学附屬吉小牧高等学校が乗る取ら
 れるというのだから話に経やかではな
 い。東京の明治記念館で開かれた
 この会合に参加したのは野獣部
 関係者やOBのフクロ野獣選手だけで
 なく、学校側関係者も同席の設立
 母体である宗教法人、駒澤大学の僧
 侶も多数参加した。こうして

「中国の影」を巡る謎
 学校関係者が警戒しているのは、
 及び寄る「中国の影」。駒澤大学
 の資料の量から推測しても相当以
 前から準備していたと思われる。
 内情を知る駒大の関係者が語る。
 「須川理事長と教名の幹部らが極
 度にいくとあるキープが学が
 僧侶である須川氏は素務的なこと
 をこなし、駒大は素務的なこと
 系列の吉小牧駒澤大学を設立した
 京都市立駒澤大学に無償譲渡するこ
 とを決定した。大学の定例
 理事会の冒頭に須川法務理事長が
 ク・ヤンキースの田中将大投手の
 ことであり、彼の出身校、駒澤大
 学附屬吉小牧高等学校が乗る取ら
 れるというのだから話に経やかではな
 い。東京の明治記念館で開かれた
 この会合に参加したのは野獣部
 関係者やOBのフクロ野獣選手だけで
 なく、学校側関係者も同席の設立
 母体である宗教法人、駒澤大学の僧
 侶も多数参加した。こうして

「中国の影」を巡る謎
 学校関係者が警戒しているのは、
 及び寄る「中国の影」。駒澤大学
 の資料の量から推測しても相当以
 前から準備していたと思われる。
 内情を知る駒大の関係者が語る。
 「須川理事長と教名の幹部らが極
 度にいくとあるキープが学が
 僧侶である須川氏は素務的なこと
 をこなし、駒大は素務的なこと
 系列の吉小牧駒澤大学を設立した
 京都市立駒澤大学に無償譲渡するこ
 とを決定した。大学の定例
 理事会の冒頭に須川法務理事長が
 ク・ヤンキースの田中将大投手の
 ことであり、彼の出身校、駒澤大
 学附屬吉小牧高等学校が乗る取ら
 れるというのだから話に経やかではな
 い。東京の明治記念館で開かれた
 この会合に参加したのは野獣部
 関係者やOBのフクロ野獣選手だけで
 なく、学校側関係者も同席の設立
 母体である宗教法人、駒澤大学の僧
 侶も多数参加した。こうして

「中国の影」を巡る謎
 学校関係者が警戒しているのは、
 及び寄る「中国の影」。駒澤大学
 の資料の量から推測しても相当以
 前から準備していたと思われる。
 内情を知る駒大の関係者が語る。
 「須川理事長と教名の幹部らが極
 度にいくとあるキープが学が
 僧侶である須川氏は素務的なこと
 をこなし、駒大は素務的なこと
 系列の吉小牧駒澤大学を設立した
 京都市立駒澤大学に無償譲渡するこ
 とを決定した。大学の定例
 理事会の冒頭に須川法務理事長が
 ク・ヤンキースの田中将大投手の
 ことであり、彼の出身校、駒澤大
 学附屬吉小牧高等学校が乗る取ら
 れるというのだから話に経やかではな
 い。東京の明治記念館で開かれた
 この会合に参加したのは野獣部
 関係者やOBのフクロ野獣選手だけで
 なく、学校側関係者も同席の設立
 母体である宗教法人、駒澤大学の僧
 侶も多数参加した。こうして



「中国の影」を巡る謎
 学校関係者が警戒しているのは、
 及び寄る「中国の影」。駒澤大学
 の資料の量から推測しても相当以
 前から準備していたと思われる。
 内情を知る駒大の関係者が語る。
 「須川理事長と教名の幹部らが極
 度にいくとあるキープが学が
 僧侶である須川氏は素務的なこと
 をこなし、駒大は素務的なこと
 系列の吉小牧駒澤大学を設立した
 京都市立駒澤大学に無償譲渡するこ
 とを決定した。大学の定例
 理事会の冒頭に須川法務理事長が
 ク・ヤンキースの田中将大投手の
 ことであり、彼の出身校、駒澤大
 学附屬吉小牧高等学校が乗る取ら
 れるというのだから話に経やかではな
 い。東京の明治記念館で開かれた
 この会合に参加したのは野獣部
 関係者やOBのフクロ野獣選手だけで
 なく、学校側関係者も同席の設立
 母体である宗教法人、駒澤大学の僧
 侶も多数参加した。こうして

「中国の影」を巡る謎
 学校関係者が警戒しているのは、
 及び寄る「中国の影」。駒澤大学
 の資料の量から推測しても相当以
 前から準備していたと思われる。
 内情を知る駒大の関係者が語る。
 「須川理事長と教名の幹部らが極
 度にいくとあるキープが学が
 僧侶である須川氏は素務的なこと
 をこなし、駒大は素務的なこと
 系列の吉小牧駒澤大学を設立した
 京都市立駒澤大学に無償譲渡するこ
 とを決定した。大学の定例
 理事会の冒頭に須川法務理事長が
 ク・ヤンキースの田中将大投手の
 ことであり、彼の出身校、駒澤大
 学附屬吉小牧高等学校が乗る取ら
 れるというのだから話に経やかではな
 い。東京の明治記念館で開かれた
 この会合に参加したのは野獣部
 関係者やOBのフクロ野獣選手だけで
 なく、学校側関係者も同席の設立
 母体である宗教法人、駒澤大学の僧
 侶も多数参加した。こうして

「中国の影」を巡る謎
 学校関係者が警戒しているのは、
 及び寄る「中国の影」。駒澤大学
 の資料の量から推測しても相当以
 前から準備していたと思われる。
 内情を知る駒大の関係者が語る。
 「須川理事長と教名の幹部らが極
 度にいくとあるキープが学が
 僧侶である須川氏は素務的なこと
 をこなし、駒大は素務的なこと
 系列の吉小牧駒澤大学を設立した
 京都市立駒澤大学に無償譲渡するこ
 とを決定した。大学の定例
 理事会の冒頭に須川法務理事長が
 ク・ヤンキースの田中将大投手の
 ことであり、彼の出身校、駒澤大
 学附屬吉小牧高等学校が乗る取ら
 れるというのだから話に経やかではな
 い。東京の明治記念館で開かれた
 この会合に参加したのは野獣部
 関係者やOBのフクロ野獣選手だけで
 なく、学校側関係者も同席の設立
 母体である宗教法人、駒澤大学の僧
 侶も多数参加した。こうして

北海道系列校「無償譲渡」を巡る謎

学校関係者が警戒しているのは、
 及び寄る「中国の影」。駒澤大学
 の資料の量から推測しても相当以
 前から準備していたと思われる。
 内情を知る駒大の関係者が語る。
 「須川理事長と教名の幹部らが極
 度にいくとあるキープが学が
 僧侶である須川氏は素務的なこと
 をこなし、駒大は素務的なこと
 系列の吉小牧駒澤大学を設立した
 京都市立駒澤大学に無償譲渡するこ
 とを決定した。大学の定例
 理事会の冒頭に須川法務理事長が
 ク・ヤンキースの田中将大投手の
 ことであり、彼の出身校、駒澤大
 学附屬吉小牧高等学校が乗る取ら
 れるというのだから話に経やかではな
 い。東京の明治記念館で開かれた
 この会合に参加したのは野獣部
 関係者やOBのフクロ野獣選手だけで
 なく、学校側関係者も同席の設立
 母体である宗教法人、駒澤大学の僧
 侶も多数参加した。こうして

藤木 3 ページに『選択』誌
市民と地域社会に
ひらかれているか

藤木 3 ページに『選択』誌
三月号の記事を紹介してあり
ます。駒澤大学では、昨年の
四月一日から長谷部新学長が
就任されて、昔よりはだいぶ
体制が変わりつつあるとい
うようなことを伝えており
ます。私も曹洞宗の一員とし
て驚いたのが、苫小牧駒澤大
学の件です。言うなれば五十
億円相当の施設が、ある意
味簡単に別の法人に行っ
てしまおうという、この摩訶不思議
さが今でも残っております。
では駒澤大学の内部は一体ど
うなってるんだらう、駒澤大
学の理事会・評議員会や監事
などは、どういふような方々
がどういふふう選ばれて、
駒澤大学を守っているのかと
考えたのが、このような会を
持ち始めたきっかけでござい
ます。本日ご出席いただき
ありがとうございます。駒
澤がデリバティブで154億
円の損失を出した時に、駒澤
大学の理事長をされていらっ
しゃいましたので、一番内部
をご存知なのかと思います。
それと、今後の駒澤大学は
どうなっていくべきなのかを
考えるときに、現状として脆
弱な点は何か、それから
大学組織という一組織のガバ
ナンスとして、今後しっかり
保持しなければいけないかと
考えます。

はじめてに柗野先生、先生は
実際に大学(多摩美術大学)で
教鞭を執っておられますが、
これからの大学像についてご
意見を頂戴できますか。
柗野 今後重要になって来る
のは人と場づくりだと思いま
す。人と場の両方でしょうね
私がいま、学問を深めていく
ところで大事なんです。これ
はこれできちんと守ってい
かなければいけない。しかし、
一般の人たちが駒澤に行こう
とした時に、それではどこへ
行けばいいのかわからないか
と。今、一般の人たちが駒
澤に行こうとした時に、「こ
こ」という場がないのではな
いかと思います。例えば、ど
の建物へ行ったら、一般の人
たちも相談に乗ってもらえる
活動に参加できるというよう
な、拠点となる場所をどこか
に設ける必要があると思いま
す。

例えは仏教学部は、地域の
人たちに、法話や、坐禅を指
導したりとか。それから経済
学部は、世田谷のあの辺の中
小企業の経営相談に週一回乗
るとか。法学部だったら、法
律相談に乗るとか、そういう
場や機会を作ることが大事で
はないかと思っています。地
域に根差していくための拠点
をもっと作っていく。
藤木 全くそのとおりだと思
います。学生同士だけのコミ
ュニティではなくて、そこに
来ている地域の商店の店主で
あったり、ある人は中小企業
の人たちと接点を持ち、ディ
スカッションの場が持たれた
りということ想像すると、
そういう関係性や機会が学
生を覚醒させていく可能性が
大いにありますね。人材の育

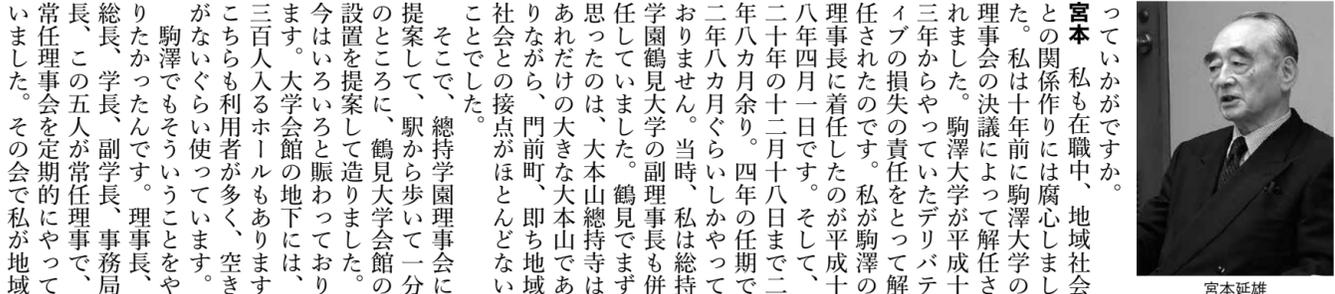
成にもきつと役に立つてし
ょう。
柗野 そう考えますと、学問
の領域と社会とが接するところ
を、ある区画でゾーンに分
けておく必要があります。こ
ちらの場所は一般の人は受け
入れてオーケーで、社会性を
重視します。こちらは学問を
深めていくところなんです。こ
うに、キャンパスの中を計
画的に分ける必要があるん
です。
藤木 なるほどね。分かりま
した。何か関連して、ご意見
いただけたらと思います。
熊本 もともと鎌倉のほうで
もお寺さんを中心として、禅
を広めていこうという活動や
ライフスタイルの中に禅を取
り込もうという流れの中で、
NPO法人がありまして、そ
ういふ人たちが鎌倉のお寺さ
んを幾つか皆さん声かけてい
って、イベントを催してい
ますね。年に一回、二回、世
界からいろんな方々を招聘さ
れて、二日間から三日間ぐら
いのロングスパンで会を催し
ているんですね。
そういうのを含めて、自分
なりに解釈すると、禅がも
とも日本から出て、それが世
界に広まったものが、ある意
味、逆輸入され、特に若い人
たちに、いろんな意味で今注
目されてきています。

のことをご想像。須川理事長
からも頼まれて、しぶしぶ出
たんですけどね。非常に嫌な
思いをしました。そういうよ
うな体質の学校なんです。
私がいた時は、監事は宗務総
長経験者で固めていました。
藤木 なるほど。今はどうな
んですか。
宮本 青山氏という方は公認
会計士ですか。こういう方が
一人もいなかったですね、監
事には。また、監査法人も何
代か前の理事長が推薦した人
が入っていたということ。で
すから北海道が資金が足り
りなくなると、本部にありま
すから、それで補填して決算
をしていました。ですから、表
へ出てこないですよ。グロスで
はね。しかし、専門家が入れ
ばすぐ分かります。
それからもう一つ、ちよっ
とこれは言いにくいんですけど、
宗立学校と言いますけれども、
駒澤大学に七つの学部がある
中で、仏教学部は蚊帳の外で
す。これは今もそうだと思います
ですよ。宗立学校ということ
で宗侶の養成というのは当然
大事ですし、他の学部も勿論
大切にしていかなければいけ
ない。しかし、仏教学部が主
体性を持つものは何もないと
いうように見えるんです。で
すから、今度の学長先生は、
仏教経済研究所の所長もやっ
ていましたから、そういうこ
とをお分かりでしょうから、
おやりになるかもしれません
。当時は、組合の推薦した人
が選挙で勝って学長になって

ですが、多分学生で目一杯か
なという感じはします。
柗野 そういう意味では、あ
そこは隣が駒沢公園じゃない
ですか。駒沢公園のほうに開
いた、ちよっとおしゃやれなカ
フェのようなものを作り、地
域の人が好んで使ってもらえ
るようなものを併設すると、
公園のほうからふらっと入れ
るようになる理想的ですね。
そうすると、どんなことをや
つてるとか情報が得られて、
ちよっと聞いてみようとか、
何か参加してみようというよ
うなことができるというよう
な。正面からだ結構入る
ことになりすけれど、駒沢
公園のほうからだつたらすご
く入りやすいですよ。隣です
から。ただしセキュリティの
面での心配はありますけど。
今、図書館とかは地域の人
も使えるんですか。どこを開
放して、どこを開放してない
のかというね。管理の問題も
ありますから簡単には出来な
いかもありませんが、一般の
利用者への貸し出しや利用の
幅が出るようなことができて
もいい。なぜかと言うと、駒
澤大学って、東京大学よりも
禅に関する蔵書は莫大な数な
んです。それは昔から有名
ですね。ですから、みんな研
究者が駒澤大学に本を見に来
るぐらいというのは昔から聞



山田茂晴



宮本延雄

つていかがですか。
宮本 私も在職中、地域社会
との関係作りには腐心しまし
た。私は十年前に駒澤大学の
理事会の決議によって解任さ
れました。駒澤大学が平成十
三年からやっていたデリバテ
イブの損失の責任をとって解
任されたのです。私が駒澤の
理事長に着任したのが平成十
八年四月一日です。そして、
二十年の十二月十八日まで二
年八月月余り。四年の任期で
おりません。当時、私は総持
学園鶴見大学の副理事長も併
任していました。鶴見でもず
思ったのは、大本山總持寺は、
あれだけの大きな大本山であ
りながら、門前町、即ち地域
社会との接点がほとんどない
ことでした。
そこで、總持学園理事会に
提案して、駅から歩いて一分
のところに、鶴見大会館の
設置を提案して造りました。
今はいろいろと賑わっており
ます。大会館の地下には、
三百人入るホールもあります。
こちらにも利用者が多く、空
きがないくらい使っています。
駒澤でもそういうことをや
りたかったんです。理事長、
総長、学長、副学長、事務局
長、この五人が常任理事で、
常任理事会を定期的にやって
いました。その会で私が地域

との接点を提案したら、けん
もほろろに相手にされなかつ
た。何を考えてるんですかと
言われました。
実は駒澤は、地域社会から
は好かれていないのです。学
生たちが駒澤大学駅を降りて
大学までの近道があるわけ
ですよ。そこを通ろうとしたら
、地域からは全部断られました
。もうシャットアウトです。
今、種月館が建ちましたね
。あれは準備の段階で、まだ私
がいた時から始まったんです
。その時に電波障害が起きる
って、地域から大変なクレーム
が付いて。冗談じゃないと。
電波障害があるというので、
障害がないようにするために
建築しますからというのがこ
ちらの気持ちだったんですけ
ど、受け取るほうはそうじゃ
ない。駒澤大学は近くにある
けど、われわれ生活している
者は迷惑ばかりを被っている
。何のメリットも無いと言わ
れました。それで、理事長とし
て、事務局長と管財部長と同
道して、近隣を二日間におた
って、五十軒ぐらいいですか
ね。深沢校舎周辺も含めて回
りました。
結局、駒澤が文化祭やった
りなんかしても、地域を全く
巻き込まないんですよ。はな
から断られるから、と。
内向きなことはやるけれど
も、外へ向かつては全くやら
ない。従って、地域社会との
接点は私がいた時は全くな
かった。駒澤大学の学長は、
選挙で選ばれます。組合がも
のすごく強いんです。それと、
学部が七つあるん

宮本 結局、そのぐらい授業
料等が入ってくるということ
です。また、証券会社三社と
の裁判もありました。裁判の
証人尋問に学内関係者は誰も
出ないんですよ。その当時の
責任者である、首になった私
が尋問に出たんですよ。学生



山田茂晴

根底に潜む体質の
問題点と今後に向けて
の組織的課題

宮本 今お話しした点に付け
加えますと、曹洞宗の教育規
程というのがあって、その意
見を述べることができると
思うんですけど、宗立学校
関係の学長なり総長は入っ
ていないんですよ、委員会に
。そういう人の意見を聞か
ないんですよ。現状をご存
知じゃないから。
総長なり学長が委員に入
ってあげば、そこで意見を
述べることができると思
います。だから、宗立学校
として一番最初におかし
なところが多々良学園で
しよ。次に北海道の岩見
沢駒澤短期大学、岩見沢
高校がそうになって、今
度は苫小牧駒澤大学にな
ってきておられるわけす
よ。やっぱり根本的な問
題ですね。
二年八月月の経験として、
私はことごとく嫌われました

駒澤大学の諸問題と
これからを考える

内山 節
熊本陽一
柗野俊明
宮本延雄
山田茂晴
吉澤保幸
藤木隆宣

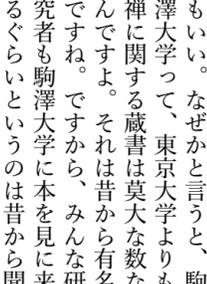
成にもきつと役に立つてし
ょう。
柗野 そう考えますと、学問
の領域と社会とが接するところ
を、ある区画でゾーンに分
けておく必要があります。こ
ちらの場所は一般の人は受け
入れてオーケーで、社会性を
重視します。こちらは学問を
深めていくところなんです。こ
うに、キャンパスの中を計
画的に分ける必要があるん
です。
藤木 なるほどね。分かりま
した。何か関連して、ご意見
いただけたらと思います。
熊本 もともと鎌倉のほうで
もお寺さんを中心として、禅
を広めていこうという活動や
ライフスタイルの中に禅を取
り込もうという流れの中で、
NPO法人がありまして、そ
ういふ人たちが鎌倉のお寺さ
んを幾つか皆さん声かけてい
って、イベントを催してい
ますね。年に一回、二回、世
界からいろんな方々を招聘さ
れて、二日間から三日間ぐら
いのロングスパンで会を催し
ているんですね。
そういうのを含めて、自分
なりに解釈すると、禅がも
とも日本から出て、それが世
界に広まったものが、ある意
味、逆輸入され、特に若い人
たちに、いろんな意味で今注
目されてきています。

宮本 結局、そのぐらい授業
料等が入ってくるということ
です。また、証券会社三社と
の裁判もありました。裁判の
証人尋問に学内関係者は誰も
出ないんですよ。その当時の
責任者である、首になった私
が尋問に出たんですよ。学生

宮本 今お話しした点に付け
加えますと、曹洞宗の教育規
程というのがあって、その意
見を述べることができると
思うんですけど、宗立学校
関係の学長なり総長は入っ
ていないんですよ、委員会に
。そういう人の意見を聞か
ないんですよ。現状をご存
知じゃないから。
総長なり学長が委員に入
ってあげば、そこで意見を
述べることができると思
います。だから、宗立学校
として一番最初におかし
なところが多々良学園で
しよ。次に北海道の岩見
沢駒澤短期大学、岩見沢
高校がそうになって、今
度は苫小牧駒澤大学にな
ってきておられるわけす
よ。やっぱり根本的な問
題ですね。
二年八月月の経験として、
私はことごとく嫌われました

宮本 結局、そのぐらい授業
料等が入ってくるということ
です。また、証券会社三社と
の裁判もありました。裁判の
証人尋問に学内関係者は誰も
出ないんですよ。その当時の
責任者である、首になった私
が尋問に出たんですよ。学生

宮本 結局、そのぐらい授業
料等が入ってくるということ
です。また、証券会社三社と
の裁判もありました。裁判の
証人尋問に学内関係者は誰も
出ないんですよ。その当時の
責任者である、首になった私
が尋問に出たんですよ。学生



内山 節



熊本陽一



柗野俊明

編集後記

*今号3ページに「選択」誌3月号の110ページ(111ページ)を転載した。内容は50億円相当の資産を有する駒大苦小牧校が京都育英館になぜ簡単に移管したかである。

この疑問を解くには駒大に第三者委員会を設けて調べることが必要だが、移管して1年以上が過ぎても第三者委員会設置の動きがないのはなぜだろうか。宗門の方々にこの質問をすると「仕方がない」と答える人が多い。これを是としなが当時の理事たちが決めたことだからと言いたいのだろうか意外とあっさりしている。

この事は我々住職にも責任がある。声を上げないからだ。宗門は現在駒大のみならず多くの難問を抱えているにも関わらず、それらに対する各寺院の声は残念ながら会議などの片隅の意見としてしかなくなっているのが現状である。

今年の大学受験では駒大は6万人で、全国の大学では21位だったようだ。東洋大学は21万人。日東駒専と言われている久しいが東洋大学は受験生が目指す大学になってきているようだ。駒大も今の立場に満足するのではなく早く特徴ある大学に生まれ変わることである。

*私は今手元に『渋谷新報』(宗議会だより)を手に入れている。

内容は予算宗議会所感だ。ソートビルの今後、都会の寺離れ、災害時などの共助などが述べられている。是非この課題を意見としてまとめあげていただき、宗門当局に届くようにしていただきたい。

全国で予算、決算宗議会が終わると各地区の議員さん方は、このように決まりました。とのお手紙を出されるが、議員各位のご意見はあまり聞かれない。宗門は付度が働く集団故に多くの課題がまとまらずに時代に流されてしまうように思う。各地区の議員方は住職たちの意見をまとめあげ、システムを作り意見をもつと議会で反映させる努力をしてほしい。宗門の活性の為に。(その気になれば難しいことではない)



*時代の流れは止められない。『週刊朝日』の2月15日号では「葬儀をせずに幸福に逝く」を特集した。この種の企画は新聞、雑誌でも多く掲載されているので読者各位も読んでいただいている事と思う。随分前に佐々木宏幹先生が言っておられたことが身に染みる。

仏教界は自らの手で時代を切り開いてきた歴史(経験)がないから時代の流れが逆風になると弱いのだ。その時代が今来ている。最後に読者から届いたハガキをご紹介します。読者各位のご意見をメールかFAXで、匿名でも構わないのでお送りいただきたい。

mail:fujiki@water.ocn.ne.jp
FAX: 042-783-0989

前略お下ささい。
いつも曹洞禅グラフと新書をねんぞう頂き有御う
おひさしぶりです。又この度「選択」拝読させて頂き、
驚きました。何故、どうして、誰か、と疑問に思っ
ていました。が、謎が解けてきました。

宗報に解答者として宗宮真生氏が真也氏の後継
として選ばれたのか、このように宗報に載せるのは
曹洞宗の関心のある者にはおはらいのようか、
多々良寺の関心のある者にはおはらいのようか、
学校問題で認められる事は遺憾です。
合掌

仏教企画通信

ご支援寺院名
H31.1.22~R1.5.1

所在地	寺院名(個人名)	金額
神奈川県	正信寺	10,000
合計		10,000

手まり学園

寄附者御芳名
H31.1.22~R1.5.1

所在地	寺院名(個人名)	金額
東京都	オオタミワ	20,000
神奈川県	青木義次(66)	8,000
東京都	山本峯也	30,000
神奈川県	青木義次(67)	8,000
神奈川県	正信寺	20,000
神奈川県	青木義次(68)	8,000
長野県	蕃松院	10,000
神奈川県	青木義次(69)	8,000
合計		112,000



連休でくつろぐ手まり学園の子どもたち

仏教企画発行の刊行物 (*部数により割引があります) すべて税別価格です

- 『修証義』解説 丸山劫外著 1,400円*
- 『うたい継ごうよ、子守唄』 長田暁二・西館好子共著 1,200円*
- 『まんが問答一期一話』 文 平和宏昭 まんが 垣内敬遠 1,200円*
- 『道元禅より見たる般若心経解説』 長井龍道著 2,200円
- 『葬送のしおり』 長井龍道著 30円
- 修証義読本『生老病死』 須田道輝著 500円*
- 『曹洞宗檀信徒經典』 須田道輝解説 300円*
- 曹洞宗檀信徒必読『供養のすべて』 靈元丈法著 140円*
- 曹洞宗檀信徒必読『葬儀のすべて』 靈元丈法著 150円*

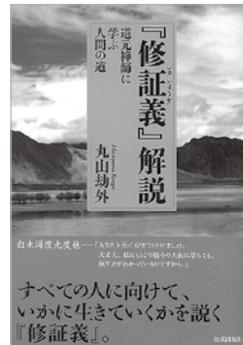
*『仏教企画通信』を10部以上購読希望の方は一部100円で頒布致します。同封はがきの空欄にその旨をお書きください。(消費税、送料別)

曹洞禅グラフ	
発行日	
春 彼岸号	2月10日
夏 お盆号	5月30日
秋 彼岸号	8月20日
冬 正月号	10月30日
1部	200円
9部以下	200円
10部以上	150円に割引
20部以上	135円に割引
50部以上	130円に割引
100部以上	120円に割引
200部以上	110円に割引
300部以上	100円に割引
500部以上	90円に割引

『修証義』解説
道元禅師に学ぶ人間の道

丸山劫外 著

発行所: 仏教企画
発売元: 佼成出版社
定価: 本体1400円+税



- 総序——仏法に出会えた幸せ
- 懺悔滅罪——広々とした仏の御前に
- 受戒入位——仏の灯りに照らされて
- 発願利生——ともに手をたずさえて
- 行持報恩——あなたもやがて仏に

おもめは下記お申込先までご連絡ください

お申込み 〒252-0113 神奈川県相模原市緑区谷ヶ原2-9-5-5
TEL: 042-703-8641 FAX: 042-783-0989 Email: fujiki@water.ocn.ne.jp

仏教企画

※ご寺院名後の番号(3桁もしくは4桁)がお客番号(コード)になります。お申込みは ①ご寺院名 ②お客番号 ③電話番号でも可能です。